

【ベンガラ染めで地域の活性化につなげよう】【生活科学3班】



岡山県立高梁高等学校 2年次 池田里緒・草地紗妃・高橋希曜

1 背景・目的

捨てられる衣類(古着)や布製品を高梁市吹屋地域で栄えた「ベンガラ染め」でリメイクし地域の活性化につなげる

2 実験・調査① 「ベンガラ染め」について知る

- 吹屋ふるさと村 ベンガラ館訪問 戸田誠さんにインタビュー
 - ・ベンガラ染めは赤色だけでなく沢山の色がある
 - ・吹屋地域は江戸～明治時代にベンガラの産地として栄えた

- 吹屋地域のイベントへのボランティア参加
 - ・吹屋を訪れる人は県外からの観光客も多い



ベンガラ染め作家の
小倉 邦子さん(下町ふらっと)
に協力してもらえることに！

← 小倉邦子さん(下町ふらっと)との写真



ボランティアの様子↓



3 実験・調査② 古着をベンガラ染めでリメイクする



- クラス内で古着を回収
⇒ふきんやTシャツ、ワンピースなどが集まった
- 集まった古着を下町ふらっとに持っていき
小倉さんに教えてもらいながらベンガラで染めた



染色 ⇒ 天日干し ⇒ 蒸し ⇒ 天日干し ⇒ 完成

4 結果

- ・ワンピースやTシャツは透けて着づらいものや、穴が空いているもの、汚れているものだったが、ベンガラで染めたことで、汚れ・傷が目立たなくなり、透け感が軽減された。
- ・ベンガラ染めの風合いにより新たな魅力が生まれた。さらにリメイクしてシュシュにしたりもした。
- ・服1枚を染めるのに約5000円、小物は1つ500円かかった



5 結論

- ・ベンガラ染めにすることで、古着に新たな魅力が生まれた。
- ・染めるための費用がかかる

6 今後の展望

- ・ベンガラ染めを紹介したパンフレットと一緒にリメイクしたものを販売して、もっと多くの人にベンガラを知ってもらいたい
- ・費用面について考える

7 協力先 吹屋ふるさと村 戸田 誠 さん
下町ふらっと 小倉 邦子 さん